



こんな本も読んでみましょう

選者：さいたま市立針ヶ谷小学校 教諭 鶴田 裕子

作：宮沢 賢治

## 「どんぐりと山ねこ」

えらいとは、いったいどういうこと？

一郎(いちろう)は山ねこからおかしなはがきを受け取りました。めんどろなさいばんがあるからきてほしいそうです。「頭がとがっているのがえらい。」「まるいのがえらい。」「大きいのがえらい。」等どんぐりたちは自分が一番えらいと言って、三日目になってもさいばんが終わらないのです。一郎はこのさいばんをなんと一分半でかたづけました。いったい一郎はどんぐりたちにどんなことを言ったのでしょうか？

作：宮沢 賢治

## 「ツエねずみ」

いじのわるいねずみのうんめいは？

ある古い家の、まっくらな天じょううらに、「ツエ」という名まえのねずみがすんでいました。このねずみはあいてのしんせつさにつけこみ、さかうらみをしたり、じぶんかってなりくつをいったりするので、とうとうみんなからきらわれ てしまいます。さいごにねずみとりだけがあいてにしてくれますが…。

作：浜田 廣介

## 「りゅうのめのなみだ」

人にきらわれていたりゅう。はじめてやさしくされたりゅうは？

みなみのくにのやまのどこかに、おおきなりゅうがすんでいました。子どもたちは、みんなりゅうをおそれていましたが、りゅうのはなしをきいてもこわらない子がいました。その子はなんと、じぶんのたんじょうびにりゅうをしょうたいしたいとかがえたのです。子どもの思いに心をうたれたりゅうは…。

作：新美 南吉

## 「げたにばける」

さむらいは、げたがたぬきだということを知っていたよ！

おかあさんたぬきが、こどものたぬきに、ばけることをおしえていました。しかし、なかなかうまくばけることができません。やっとげたにじょうずにばけたとき、おっかないさむらいに、はかれてしまいました。おかあさんはしんばいでさむらいのあとをついていきます。どうなるのかな？